

第 1 回 代表者研修会報告

日時：平成 28 年 5 月 23 日（月）13:00～

会場：静岡県男女共同参画センター「あざれあ」

司会：竹内 美保 副会長

1 あいさつ

(1)静岡県養護教諭研究会 山崎 永子 会長

本日は健康診断や学校行事等で御多忙な中を第 1 回代表者会にお集まりいただき誠にありがとうございます。新学期に入り、学校生活が本格的にスタートしている時に熊本地震が発生し 1 カ月がたちました。被災地では今も余震が続き 1 万人近い方々が避難生活を送られている中、学校再開の明るいニュースもありました。熊本県の 1 日も早い復興を願うばかりです。本日はこのように代表者会を開催出来ることにありがたさを感じているしだいです。

さて昨年度発刊されました養護教諭実践事例集 14 号「保健室からの情報発信」伝える工夫と伝わる工夫 この 4 月から養護教諭研究会のホームページにおいて販売開始となっております。県内の大学や他県からの注文が多数あることを報告させていただきます。今年度ですが静岡県養護教諭研究会は政令市の養護教諭を含め 801 名の会員からなる組織でスタートしました。その組織力、実践力は全国的に非常に高い評価を得ています。それは何より基盤を築いてくださった諸先輩方と皆さま会員一人一人の御理解と御協力の賜物であると実感しております。本研究会が会員の誇りであり実践のよりどころとなりますよう役員一同微力ながら精一杯努めてまいりたいと思えます。また、この 4 月に念願だった静岡大学の教育学部に養護教育専攻が開設されました。開設に至るまでには諸先輩方の強い要請行動と並々ならぬ努力があったことを次世代へつないでいきたいと思えます。本日お集まりいただきました理事の先生方には各地区のリーダーとして会員や校長会、市町の教育委員会とのパイプ役として研究会の活動を円滑に推進していくことができますようお力添えをお願いいたします。そして研究会の顧問の校長先生ですが昨年度に引き続き熱い御指導をいただいております掛川市立東中学校の青野雅和先生です。研究会組織、研究会内容、行政等々今年も研究会への的確な御助言や御示唆をいただけますことを大変心強く思っております。どうぞよろしく願いいたします。また、静岡県教育委員会健康体育課参事兼課長補佐の朝倉徹先生、健康体育課健康安全班指導主事の柿沼いずみ先生、学校保健会事務局長の山下雅也先生に御出席をいただいております。先生方々には、ご挨拶をいただきます。どうぞよろしく願いいたします。

本日は大変短い時間となりますが、提案事項につきましては活発に御協議していただき共通理解のもと本年度の活動を推進していきたいと思えます。どうぞよろしく願いいたします。

(2)静岡県教育委員会健康体育課参事兼課長補佐 朝倉 徹 様

本来は課長から御挨拶を申し上げるところですが所用と重なってしまいましたので私から御挨拶申し上げます。私自身も高校の保健体育の教員ですのでこのような専門家の前でお話するのは恐縮に感じております。皆様方には子どもたちの健康の保持増進に御尽力いただきましてあ

りがとうございます。今年、県教委の方で組織の再編がございました。皆様もご存じかもしれないですけれど養護教諭、学校保健の所管が健康体育課という新しい課に移管されました。

今回、学校保健、それから学校体育、安全、食育と一緒に健康体育課が担当しますのでよろしく願いいたします。それから学校保健の担当指導主事は2名おります。養護教諭の研修に関しますことは柿沼指導主事、後ほど所管事項について説明させていただきます。学校保健に関することは、松本指導主事が担当します。引き続き御協力よろしく願いいたします。先週県内の小学生が交通事故で亡くなるという事故が発生しました。私たちも含めて皆様方、学校の方で災害の対応又は安全教育それからアレルギー疾患や感染症の対応、健康相談等、学校全体を巻き込んでいただきまして子どもの命を守る実践をお願いしたいと思っています。

この研究会は養護教諭の資質向上のため大変努力され実績を積み重ねていると伺っています。先ほど研修の冊子を見せていただきましたけれども、本当に立派で各校の養護教諭が役に立つだろうと思うものを作っていたらいいということをお願いしております。今年度もぜひとも研修を重ねていただきまして資質向上を図っていただければと思います。最後に今後も多忙な日々が続くと思いますが先生方自身もお体を大事にしていただきまして学校で御活躍頂けたらと思います。よろしく願いします。

(3) 県学校保健会 山下 雅也 事務局長 (別紙)

日頃より養護教諭の皆様には学校保健会にお力添えいただきありがとうございます。本学校保健会ですけれども東部から西部まで16地区の学校保健委員会がございまして、高等学校では東中西3つの学校保健会がございまして、合わせて県内19地区で組織されております。また、学校保健会の事業としましてはすでに御承知かと思いますが地区の学校保健の充実、発展、各学校における学校保健を推進し心身ともに健康な児童生徒を育成するというような事業を計画しております。このようなことから養護教諭の皆様には多大な御示唆、専門的な見地から色々なアドバイスを頂きたいと思っております。本日は年度始めの代表者会ということですので、静岡県学校保健会事業計画というプリントを御覧いただき年間の計画等を少し説明させていただきます。連携をとらせて頂きたいと思っております。

①55回県学校保健会研究大会 11月10日 伊東市観光会館

一昨年前の浜松大会から午後の時間を利用してということになっておりまして本年度におきましても午後の開催となっております。昨年度は関東甲信越静大会がございましたので県大会はございませんでしたけれども今年度はよろしく願いいたします。

②平成28年度 中学校高等学校生徒保健委員活動発表会

一昨年前までは研究発表会がございましたけれども、ちょっと研究というと中学生にとって敷居が高いというアドバイスをいただきまして昨年度から活動発表会として日々の実践の発表をさせていただく会に変えさせていただきました。またお分けしております収録等につきましても実践発表の方が役に立つというというふうなお話もいただいております。

この会につきましては高等学校部会のご協力を得て県の教育委員会と県の学校保健会が主催ということで進められておりますけれども義務の方からもご協力頂きたいと思ひまして義務の方は学校保健部会というのはございませんのでこの養護教諭研究会の方からお力添えをいただい

て、またお願いをしたいと思います。よろしく願いいたします。

また、2番以降いろいろなコンクール等記載されておりますのでご覧いただきたいと思います。

③専門部活動推進事業 こちらの方もよろしく願いします。

④表彰について ご覧いただきたいと思います。

⑤広報に関する事業 要覧は4月に発行しました萌木色の冊子を配布しましたのでご覧いただき学校保健の推進に役立てていただければと思います。

⑥健康診断結果の実態と研究報告 ご覧いただきたいと思います。

⑦理事評議委員会等 ご覧いただきたいと思います。

裏面は細かな日程でございますのでご覧ください。

今年度も養護教諭研究会と連携を取らせて頂きまして本県学校保健の普及啓発に努めてまいりたいと思いますのでどうぞよろしく願いいたします。

(4)静岡県中学校体育連盟事務局理事長 小田通也 先生(別紙)

貴重なお時間をいただきましてお願いにあがらせて頂きました。日頃より中体連の活動につきまして御協力いただきありがとうございます。昨年度は、例年に比べて救急搬送が多かったようですけれども先生方のお力により無事終了することが出来ました。

本年度の大会ですけれども6月4日の陸上中部地区予選会を皮切りになります。県大会ですが7月16日、17日が陸上競技のスタートとなります。本年度の大会につきましてもぜひ先生方のお力をお借りして進めてまいりたいと思います。資料の方を配布させていただきました。救護役員の依頼文書また、救護役員の要請という文書があると思います。こちらの方を御覧いただきまして各支部にて養護教諭の配置を決定して頂ければと思います。資料の訂正ですが救護役員の要請についてのサッカーが7/31→7/30、新体操7/26の1→0で、合計が4となります。なお、予備日ですがこちらの配置もお願いしたいと思います。資料の後ろの方に各地区の理事長及び競技部長の名前が載っております。先生方へは各地区の理事長より連絡をさせていただきます。また、決定後は理事長の方へ連絡をお願いいたします。この日のために頑張ってきた中学生のために先生方のお力をぜひお借りしたいなあと考えております。本日は貴重な時間ありがとうございました。

(5)顧問校長 青野 雅和 先生

改めまして皆さんこんにちは。5月23日ではございますけれども昨日、北海道の方では33度というすごい気温で九州の方でも大変暑い日だったようです。いよいよこれから夏に向かっていくなあと気が致します。学校の方では修学旅行や運動会があり、中学校ではこれから中体連もあります。本年度も私顧問校長ということで皆様方にお世話になります。よろしく願い致します。昨年度、夏季研究会、冬季研究会、たちばな、きんもくせい、事例集、調査研究、ホームページ、役員選考そして会計と一つの活動をていねいにやっていたで大変意義のある活動が出来ているなあとと思います。加えまして昨年度は静岡大学養護教育専攻の設立を祝う会を主催していただきまして本当に素晴らしい会で参加して下さった方々も口々に素晴らしい会だったと言っていただきまして本当に良かったなあと考えております。研究会の底力を見たような気がいたします。このような色々な地道な活動が静岡県の子どもたちの各校のけがの予防や病気の予

防、安全な生活、心身の健やかな成長を支えているなあとと思います。また本県はこのような会もそうですけれども県下の養護教諭が一同に集まるということで非常によい交流の場となっていると思います。相互の研鑽の場となり一人一人の研究活動の支えとなっているように思います。静岡県養護教諭研究会が貴重な場であるということのを再認識いたしました。

2点だけお考えいただきたいことがあります。1点目は静岡県の校長会でも問題にしているのですが、静岡県の教育委員会でも問題にしていることで、静岡県の教職員の年齢別の構成の事があります。これから大変教職員の人数が多くなる年代に入っています。おそらく46歳あたりまで教職員数が多くなります。46歳あたりから急に減っています。私たち勝手に山と谷と言っておりますが46歳から急に谷に入っています。その年代の人たちの育成が問題になっております。年々人数が少ないところの人たちへの負担が増えてきます。静岡県の研修センターでは45、46歳でのキャリアアップ研修ではその年代の人たちのキャリアアップをするということです。さて養護教諭の先生方の年代は各地区どうなっているのでしょうか？おそらく今、ベテランの方がたくさんいらっしゃる、その人たちが地区の養護教諭研究会を支えているのではないかと思います。その次の年齢の人たちの人数が多いかどうかをぜひ人数計算をしてみたらいいなあとと思います。私も小笠ですけれども46歳以下が少なくなり、教職員の男性と女性の比率が逆転しかつ女性が多いその年代は子育ての世代になりそして地元の先生が非常に少ないという構造的な問題になっております。ぜひ地区の養護教諭の先生方の年齢構成をみていただきこれまで培ってきたノウハウがきちんと次の世代まで傳承されていきますようにして頂けたらと思います。

もう1点は昨年から何度も申し上げていますが、平成29年4月1日の政令市の指定都市の権限移譲が行われます。市民の近いところでの行政ということでそれぞれ人事、研修の見直しがされているところであります。浜松、静岡市におかれましては大変心配されていることと思います。給料に関わりましては静岡県校長会の方も給与格差が出てしまうと人事交流に大変大きな問題が出てしまうということで各市の方に依頼をしているところでございます。また、静岡県養護教諭研究会同様、校長会や事務研、教頭会など任意の団体があるわけですが、現時点では県の校長会において、浜松市は当面維持をしていくという返事をいただいております。静教研において浜松市は30年までは一緒にやっていくけれども31年からは脱退という話を伺っております。それ以外は未定ということでありますので今後2市の方の情報をいただきながらこの静岡県養護教諭研究会の方も色々な局面を想定しながら話し合いをしていきたいと思っておりますし、養護教諭研究会の内部でも話し合いの検討会を持って対応していきたいと思っております。

2 静岡県教育委員会所管事項

県教育委員会健康体育課健康安全班 柿沼 いずみ 指導主事 (別紙)

日頃は学校保健活動の推進に御尽力いただきましてありがとうございます。また、今年度は学校保健歩施行規則の一部改正で昨年度の準備の段階から今年度の実施に至るまで御尽力いただきましてありがとうございます。先ほど健康体育課ということで組織が変わったということと学校保健担当指導主事が平野から松本に変わったということをお話しましたが、本来なら松本指導主事からお話すべきところですが、他の会合に出ていますので、私から所管事項の説明をさせていただきますので、所管事項という紙とA4横の資料の方ご用意ください。

全ては説明できませんので要点のみです。

1 児童生徒の傷病について

①災害・事故への対応につきましては、事故発生時の救急体制の再確認をお願いしたいと思います。先ほど参事のあいさつにもございましたけれども、交通事故も含めて大事故発生時にはその後の心のケアについてスクールカウンセラーと連携をお願いいたします。

②感染症の対応について

大きな流行が予想される場合は、麻疹や結核の疑いが児童生徒や教職員にある場合、校長の指示を受けたうえで学校医、市町の所管課に相談し指導助言を受けながら対応をしていくようお願いいたします。

③食中毒・熱中症の予防について

今日も本当に暑くなりましたけれども今後気温の上昇に伴い熱中症や食中毒の恐れが出てきます。授業以外にも学校行事等で食品を扱うことがあると思いますが、食中毒の防止の観点からその必要性を十分に決定し食材の選択や加熱時間の注意をお願いいたします。また、熱中症の予防のためには休憩時間の確保、水分補給等、皆さんして頂いていると思いますが引き続きお願いいたします。

④疾病管理等の多様化について

管理の必要な児童生徒一人一人の症状や状態を把握する等、きめ細かい配慮や病気についての知識を持つこと、職員への周知を今後とも引き続きお願いいたします。この脳脊髄液減少症につきましては健康福祉部のホームページにリーフレットが掲載されているので適宜ダウンロードをして活用願います。1月に学校に配布いたしましたが、内容が一部変更になっておりますので、活用される場合にはホームページで最新の情報を使っただけだと思えます。

2 学校保健安全法施行規則一部改正等

(2)のアの発育の評価ですけれども昨年度からお願いをしているところでございますが、成長曲線等を活用してくださいということです。「児童生徒の健康診断マニュアル」こちらはみなさんお手元にあると思います。これに添付されております CD-ROM「子どもの健康管理プログラム」の活用が薦められますが、同様の質の担保が図られれば他のプログラムでも構わないということです。こちらの CD-ROM は紛失しないように保管をお願いします。

四肢の状態については文部科学省からアンケートの依頼も来ておりますのでご協力をお願いいたします。

3 色覚についての健康相談

昨年度からお願いしておりますが、これは健康診断が再開されたわけではなく、自分の特性を知らないまま不利益を受ける事のないよう、より積極的に保護者への周知を図ることが主旨でありますので健康相談の体制作りや配慮をお願いしたいと思います。

4 学校におけるアレルギー疾患の対応

各市町学校でも行われていると思いますけれども今後もアレルギー疾患の知識や対処方法について認識を深め的確な対応ができるようお願いいたします。

5 平成 27 年度の各実態調査から

(1)の脳脊髄液減少症の勉強会ですが今年度は下田市で1回になりますが積極的な参加をお願いします。

(2) のアレルギー疾患への取り組み状況ですが昨年度より取り組みを行っている学校が増えています。先生方ありがとうございます。

(3) 薬物乱用防止教室についてですが、静岡県は全国でも 2 番目に高い開催率となっております。これも先生方の高い意識と学校薬剤師をはじめとした関係機関の連携のお蔭だと思っております。今後とも引き続きお願いいたします。

6 養護教諭に関する研修

配布しました資料を御覧ください。今年度の夏の研修会では成長曲線についてということで東京女子医科大学 名誉教授の村田先生に講演をお願いしております。

7 保健室経営計画

昨年文部科学省の岩崎信子調査官をお招きして講演を行いました。その後、課題解決型保健室経営計画については様々な方にご意見等もお伺いしました。実際に校内で提案して実施していくには様々な点において理解が不十分ではないかということで時間をかけて指導リーダー等によって研修と周知を積み重ねながら浸透させていくことにしました。本年度につきましては昨年度学びました課題解決型保健室経営計画をはじめとして各校の実情に応じた様式で作成をして頂ければと思います。各学校の実情に応じた様式で作成する場合も保健室経営計画の作成の手引き（平成 26 年度改定）こちらを参考に課題解決の視点で作成をして頂ければと思います。昨年度末配布した全国養護教諭研究会の「保健室経営計画」の資料を活用して頂ければと思います。今後もし、様式の統一をする場合には市町の教育委員会を通じて通知をしたいと思います。

8 その他

がん教育について、文部科学省から「がん教育教材」についてガイドラインが出ましたので活用して頂きたいと思います。あと細かいところはお読みいただきたいと思います。

なお、政令市や各市町教育委員会ではこれらと異なる部分もあるかと思いますが確認して頂ければと思います。それでは今年もよろしくお願いいたします。

3 役員及び理事の紹介

4 議事

(1)平成 27 年度事業報告

土屋顧問（別紙）・・・承認

静岡大学養護教育養成課程設立のお祝いとして養護教諭研究会から書庫を贈呈しました。

鎌塚先生より、研究会の「たちばな」や「事例集」などを入れて、学生にも見ていただくとのことでした。

(2)平成 27 年度役員選出報告

油井役員選出委員長（別紙）・・・承認

平成 27 年度第 3 回代表者会で承認されたものから平成 27 年度末人事異動で変更があるので理事の方より報告をお願いしたいと思います。

(3)平成 27 年度会計報告・会計監査報告

富田会計（別紙）・・・承認

(4)平成 28 年度事業計画案

山崎会長（別紙）・・・承認

(5)平成 28 年度研修計画

山崎会長（別紙）・・・承認

・全国養護教諭連絡協議会 平成 29 年 2 月 24 日（金）予定

・日本学校保健会事業報告会 平成 29 年 2 月 16 日（木）予定

① 平成 28 年度夏期講習会及び夏季研修会

平成 28 年 8 月 8 日（月）

講演 学校事故について（予定）

名古屋大学 准教授 内田 良 氏

当日理事の皆様にはご協力をお願いしたい。

② 冬季研修会

平成 29 年 12 月 2 日（金）

講演 がん教育について（予定）

こども病院 堀越先生（予定）

(6)各委員会活動計画

①会誌たちばな編集委員会（別紙）

竹内委員長・・編集計画承認

- ・「知りたい・聞きたい」コーナー 静岡大学養護教育専攻設立までの軌跡をまとめる予定。
- ・表紙とカットは今年度東部地区にお願いする。
- ・地区の様子は半ページに収めるようにしてほしい。
- ・原稿の提出 「研究のあしあと」「声」「地区の様子」…7/22（金）までに提出。

原稿依頼文書は仮のものを本日お分けしますが、正式文書は 6/21 の第 1 回各種委員会が終わった後担当に直接送付します。

・製版部数 1050 冊

②調査研究委員会（別紙）

増田委員長・・活動計画承認

現在紙媒体で提出していますが、パソコン上での回答を検討していきたいと考えています。今年度、試験的に地区を限定してパソコンでの回答を行う予定です。

③実践事例集 15 編集委員会（別紙）

朝妻委員・・編集計画承認

テーマ「組織で活かす養護教諭の職務～学校保健委員会～（仮）」

出版社 未定

ハンドブック形式にしていく予定です。

④ホームページ編集委員会（別紙）

清副委員長（承認）

県内外保健室訪問で掲示物の特集を新設する予定。

(7)平成 28 年度予算案（別紙）

辻野会計（承認）

(8)報告事項

- ・全国養護教諭連絡協議会（別紙）
- ・日本学校保健会事業報告会（別紙）

(9)連絡事項

①平成 28 年度役員、地区理事名簿及び連絡網（別紙）

高井事務局

②平成 28 年度会員の実態（別紙）

中澤書記

- ・平成 28 年 5 月 1 日 会員数 801 名
- ・会員数の範囲について*マークのところを確認

- ・年度途中の複数配置の連絡は個人情報になるので、随時、電話で書記に連絡する。

③会費納入(別紙)

辻野会計

- ・6月30日までに会費を納入する。(一人当たり3000円)
- ・手数料は振込依頼書に㊟のゴム印を押すことで免除される。
- ・会費納入後、会費納入報告書を会計までFAXする。

④会報「きんもくせい」発行計画

中澤書記

- ・今年度は98号から103号まで発行予定
- ・地区紹介に割り当てられた地区には事前に連絡をするので原稿作成をお願いします。
- ・100号について「きんもくせい」の名前の由来や、1号、50号など節目の原稿をお持ちの方がいらっしゃるか、地区の方や退職した方に聞いて6月15日までに袋井東小の富田書記まで連絡をお願いします。
- ・「きんもくせい」を理事の方にメール送信するので地区の会員へ配布をお願いします。また、校内で回覧をお願いします。

⑤ブロック打ち合わせについて

山崎会長

ブロック別打ち合わせ - 1

各種委員会の中の「役員選出委員会」に静東、静西、浜松、静岡からそれぞれ1名決める。

<訂正>

(司会)

ブロック別打ち合わせ - 3

- ・事例集15編集委員の下の「異動した方のみ報告」を削除
- ・調査研究委員は新たになる方と引き続きの方で異動した方がいらっしゃったらそれも報告する
- ・下の*マークの「事例集15の編集委員は異動された方のみ報告」を削除。全員報告する。
- ・理事報告用紙は代表者会終了後事務局よりメールで配信される。

その他

静岡県養護教諭研究会会則について

山崎会長

- ・第2条の(養護学校)という言葉削除すること・・・承認
- ・会則の改正が必要な場合は、役員会で改正案を作成し、代表者会において審議し3分の2以上の賛成を持って決定となっている。
- ・<静岡市理事より>
第7条の5について会員が50名以上の場合は50名につき1名の理事とするとなっているが、地区の状況に応じてということでしょうか?
<会長より>
役員選出委員会を通して検討していきたい。
- ・緊急時の連絡体制の確認

⑥各地区から

◇政令指定都市の学校保健協議会について(静岡市より)

政令都市になってから「政令指定都市の学校保健協議会」に参加している。現在 20 都市が政令指定都市となり順番に回っている。20 年に 1 回回ってくる。今年は静岡で実施される。毎年 1 つ事例を発表しなくてはならない。名古屋などの大きな地区は県から抜けている。静岡市はそこまで大きくはないのでどうするか。このような現状を知っていただきたい。

◇成長曲線の各地区の活用について教えてほしい（湖西地区より）

- ・今年度はデータ入力することになっている。
- ・配布されたCDのものに入力している学校もあるが、「えがお4」を使っている学校が多数。
- ・地区独自のものを使っているところもあり。

◇保健室経営計画の形式について他の地区では使用されているか教えてほしい（東豆地区より）

- ・柿沼指導主事の所管事項7を参照
- ・現在は各校の実情に合わせているところが多い。
- ・地区で研修をしているところもあり。
- ・新しい形式でやっている人から、他者評価は難しいという意見が出ている。

5 ブロック別打ち合わせ

- ・地区ごと（東部・中部・西部）に分かれて割り当ての確認
- ・4ブロックに分かれて割り当ての確認